

東日本婦人部ニュース

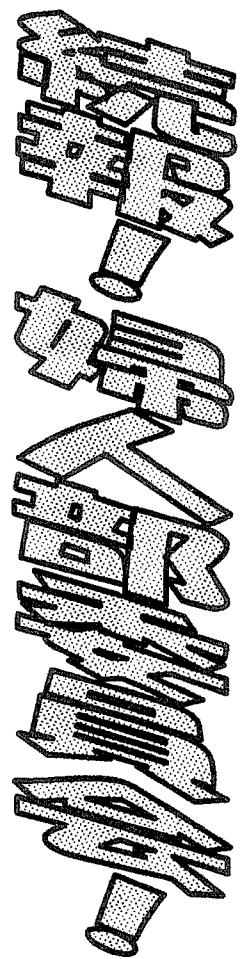
国 労 東 日 本 婦 人 部
発行責任者 佐々木 久恵
編 集 斎藤 七重



NO.136

発行年月日 2007年 2月 25日

第20回 東日本婦人部定期委員会 I・N・ひたちなか II



東日本婦人部委員会開催
第二十回東日本婦人部委員会は、一月二十二日茨城県ひたちなか市ホテルニュー白亜紀にて開催されました。多くの発言があり今回はその統報です。

国労東日本

佐々木婦人部長まとめ
私も今とまり勤務に入っている。夫もメンテナンスの出向で泊まり勤務があるため泊りがダブルにならないように勤務調整している。新宿駅は、障害者のためのバリアフリーの工事が入っているが二年かかるため駅の中はぐちゃぐちゃだ。

本日にこの会社は社員を大事にしていきたいと思います。小集団や提案を出せば金を出す、それでいいと思っています。盛岡の①さんのような例はたくさんある。次の電車まで待てないで早く帰ったと

いうような話。もう少し何とかならなかったのかと考える。

むりやり車掌試験を受けさせられ、合格したが車掌になりたくなくて、うつになっちゃったとか？自律神経だとか？みんなで解決していかねければならない問題だ。

今回の一円カンパは、皆様の多くの協力のおかげで四六一〇円集まりました。次回の明るく元気にとあわせて闘争団の女性組合員を励ますために使っていきます。

加藤本部婦人部長も、言っておりました。中央行動は三月七日です。多くの仲間の結集で今春闘を勝利していきましょう。

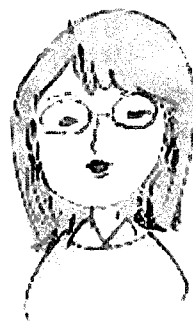
夏の“明るく！元気に！”は、女性組合員が、自ら明るく！元気に！なるための学習交流会です。多くの参加をお待ちしています。JRへの抵抗はやめない。あきらめないで、そして気力を持って（浜崎サイ）頑張りましょう！

質疑応答（要旨）

仙台 郡山から通っている男の人で、退社時間が八時五〇分までが勤務なのに帰りの新幹線が八時四十七分だという。その後の新幹線は一時間後になってしまったため、その社員はその四七分に乗って帰っていた。しばらくは誰も気づかなかったが、ある日助役に見つかってしまった。助役は追いかけていったが、引き止めなかった。そのまま駅長事務室に駆け込んで報告してしまった。次の日からその社員は不参。あとは休ませてくださいということになっているらしい。時間前に帰ってしまったのは悪いことだが、きちんと引き止めもせず、駅長室に報告・処分というのはなんともしつくりこない。

駅の中は、窓口を減らして機械を入れるということが進んでいる。MV30は、一〇台から一八台にふえ、フロアーマネージャーが八人に増えた。全員女性だ。機械を増やせば準備金も多くなかったため、つり銭不足で機械がしょっちゅうピンポン鳴っている。盛岡② 盛岡健診センターにいます。今年の秋から新システムが

入ってくる。スタッフは五人で内二人が国労だ。四年前仙台病院から二六歳の人が来た。休憩時間はきちんととっている。生理休暇もとっている。



盛岡② 昨年は、身体を壊して入院していた。その間健診センターはパートを採用していた。ぎりぎりやっていたところなので自分が休んではと心配したが、パートをとってくれたので安心した。差別といえば、救護班の要請は国労には無い。東労組の声がかかる行事なので出たくは無いが声もかからない。



人間関係では、自己中が一人いる。所長も助役も何もいえない人がいることが問題くらいか。体

調はよくなっている。完璧とは行かないが維持するように気をつけている。

東京① 病棟に来て八年になる。電子カルテもまあまあ慣れてきた。一人入院を取っただけで超勤になる実態がある。入力項目が多すぎる。

介護の必要な患者が増えている。夜に徘徊されると、休憩が取れない。五〇床の病室に二〇人しか居ないときがあったが、三人夜勤を二人夜勤にした。二人夜勤を経験していない若いスタッフには不安があったようだ。朝食や昼食時には、ナースコールがなりっぱなしだ。手が回らないことが多かった。

東京② 外来勤務に一〇年になる。日勤勤務だが、月一二回宿直勤務がある。休憩をとるときには、今から入りますと宣言してきちんと時間通り取得している。

東京③ 新宿駅業務だ。九月中旬から泊まり勤務に入っている。十一徹やっている。改札は手が回らない状態なので、十一徹やると毎月ダメージが大きい。明けの日や、休みの日は何もわからない状態でボーとしている。会議の中身

が薄くなったり、親の会議にもいけない状態だ。

平成採用の子達の問題が、一緒に仕事をするようになってから始めて解った。男の人たちは、業務内容の中に風呂場の掃除とかトイレ掃除がはいって居るが女の勤務の中にはそれが無く、勤務終了後の明けの帰るときに掃除をしている。疲れた身体で掃除するのでぞんざいになってしまう。

“これっておかしいですよね？”と相談された。共有部分の清掃は勤務時間内にするべきだよね！と話し合っって時間外にした場合は超勤対応にするようにかけた。

障害者の子が居る。



片足が無いのだが、出札の休憩室は二階でエレベーターが無い。六階の改札の休憩室を使っている。義足のところが水ぶくれができ化膿している。企業責任で採用したのだから設備環境をきちんと整えるべきだ。今職場を替えら

2006 年度新役員

れそうだといっているが、身体を守りながら働き続けることが第一目標だといっている。これからも見守っていきたい。

婦人部長

佐々木久恵（東京）

副婦人部長

小野寺京子（盛岡）

常任委員

加藤和子（仙台）

神津みどり（長野）

奥村京子（東京）

斉藤七重（水戸）

今年はこのメンバーで一年がんばります。よろしくお願いします。

